

# 市民協働事業 相互評価シート

## 1 市民協働事業の概要

事業名称	ほどがや市民活動センター アワーズ																													
事業の実施者	団体等	特定非営利活動法人 横浜市民アクト																												
	行政	横浜市																												
事業の目的	市民活動及び生涯学習の支援をとおして、市民の理解と参画のもとに、市民一人ひとりが豊かに暮らせる地域社会の実現を目指す。																													
事業の内容	(1) 活動場所の提供 (2) 情報の提供 (3) 相談・コーディネート (4) 講習会・研修会などの自主事業 (5) その他市民活動及び生涯学習推進に必要な支援																													
役割及び責任 分担等	協働契約書第8条の規定に基づき、次に掲げる役割を分担し、その役割についてそれぞれの責任で事業を行う。																													
	事業項目	<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業項目</th> <th>受託者の役割</th> <th>委託者の役割</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="8">施設の運営全般に関わること</td> <td>1 市民公益活動等のネットワーク化</td> <td>1 市民公益活動等のネットワーク化についての調整及び協力</td> </tr> <tr> <td>2 市民公益活動に関する相談対応</td> <td>2 市民公益活動に関する相談対応についての調整及び協力</td> </tr> <tr> <td>3 市民公益活動に関する情報提供・発信・収集</td> <td>3 市民公益活動に関する情報提供・発信・収集についての調整及び協力</td> </tr> <tr> <td>4 市民公益活動等に関する活動の場の提供</td> <td>4 市民公益活動等に関する活動の場の提供についての調整及び協力</td> </tr> <tr> <td>5 地域人材ボランティアバンク事業の実施</td> <td>5 地域人材ボランティアバンク事業の実施についての調整及び協力</td> </tr> <tr> <td>6 区民利用施設等との連携による活動支援</td> <td>6 区民利用施設等との連携による活動支援についての調整及び協力</td> </tr> <tr> <td>7 自主企画事業の企画・実施</td> <td>7 自主企画事業の企画・実施についての調整及び協力</td> </tr> <tr> <td>8 その他市民公益活動に関する企画・実施、活動支援</td> <td>8 その他市民公益活動に関する企画・実施、活動支援についての調整及び協力</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">施設の管理全般に関すること</td> <td>1 設備の管理、保守・点検</td> <td>1 設備の提供</td> </tr> <tr> <td>2 軽微な維持修繕</td> <td>2 設備管理に関する調整及び協力</td> </tr> <tr> <td>事務改善に関する取組に関すること</td> <td>1 利用者ニーズの把握とサービス向上</td> <td>1 利用者ニーズの把握とサービス向上についての調整及び協力</td> </tr> </tbody> </table>	事業項目	受託者の役割	委託者の役割	施設の運営全般に関わること	1 市民公益活動等のネットワーク化	1 市民公益活動等のネットワーク化についての調整及び協力	2 市民公益活動に関する相談対応	2 市民公益活動に関する相談対応についての調整及び協力	3 市民公益活動に関する情報提供・発信・収集	3 市民公益活動に関する情報提供・発信・収集についての調整及び協力	4 市民公益活動等に関する活動の場の提供	4 市民公益活動等に関する活動の場の提供についての調整及び協力	5 地域人材ボランティアバンク事業の実施	5 地域人材ボランティアバンク事業の実施についての調整及び協力	6 区民利用施設等との連携による活動支援	6 区民利用施設等との連携による活動支援についての調整及び協力	7 自主企画事業の企画・実施	7 自主企画事業の企画・実施についての調整及び協力	8 その他市民公益活動に関する企画・実施、活動支援	8 その他市民公益活動に関する企画・実施、活動支援についての調整及び協力	施設の管理全般に関すること	1 設備の管理、保守・点検	1 設備の提供	2 軽微な維持修繕	2 設備管理に関する調整及び協力	事務改善に関する取組に関すること	1 利用者ニーズの把握とサービス向上	1 利用者ニーズの把握とサービス向上についての調整及び協力
	事業項目	受託者の役割	委託者の役割																											
	施設の運営全般に関わること	1 市民公益活動等のネットワーク化	1 市民公益活動等のネットワーク化についての調整及び協力																											
2 市民公益活動に関する相談対応		2 市民公益活動に関する相談対応についての調整及び協力																												
3 市民公益活動に関する情報提供・発信・収集		3 市民公益活動に関する情報提供・発信・収集についての調整及び協力																												
4 市民公益活動等に関する活動の場の提供		4 市民公益活動等に関する活動の場の提供についての調整及び協力																												
5 地域人材ボランティアバンク事業の実施		5 地域人材ボランティアバンク事業の実施についての調整及び協力																												
6 区民利用施設等との連携による活動支援		6 区民利用施設等との連携による活動支援についての調整及び協力																												
7 自主企画事業の企画・実施		7 自主企画事業の企画・実施についての調整及び協力																												
8 その他市民公益活動に関する企画・実施、活動支援		8 その他市民公益活動に関する企画・実施、活動支援についての調整及び協力																												
施設の管理全般に関すること	1 設備の管理、保守・点検	1 設備の提供																												
	2 軽微な維持修繕	2 設備管理に関する調整及び協力																												
事務改善に関する取組に関すること	1 利用者ニーズの把握とサービス向上	1 利用者ニーズの把握とサービス向上についての調整及び協力																												

		2 運営事業団体として必要になる事業の検証 3 「ほ도가や市民活動センター協働運営会議」との調整・協議 4 「ほ도가や市民活動センター評議会」の運営・開催	2 横浜市として必要になる事業の検証 3 「ほ도가や市民活動センター評議会」の運営・開催についての調整・協力
	その他市民活動センターの管理運営等にあたり、必要となる事務事業に関すること	1 利用統計に関する業務 2 管理運営事業団体として必要になる情報公開及び説明責任に関する業務 3 支援センターの管理運営及び市民力の向上等に関する調査研究 4 その他区が行う市民公益活動等に関する施設・事業等への参画	1 利用統計についての調整及び協力 2 横浜市として必要となる情報公開及び説明責任に関する業務 3 支援センターの管理運営及び市民力の向上等に関する調査研究についての調整及び協力 4 横浜市役所内部の連絡調整
実施期間	平成 31 年 4 月 1 日から令和 2 年 3 月 31 日		

記入日	令和 2 年 6 月 17 日
記入者	・団体等名： 特定非営利活動法人 横浜市民アクト  ・記入責任者 氏名： 吉弘 初枝 連絡先： 045-334-6306
	・部署名： 保土ヶ谷区役所地域振興課  ・記入責任者 氏名： 椎葉 秀幸 連絡先： 045-334-6307

### 3 事業評価相互検証シート

事業実施プロセス相互チェックシートでおこなった結果をもとに、相互で本検証シートを作成します。

<b>事業の計画づくり</b> (協働して事業計画をつくるにあたり、お互いに共有できたことや認識に違いがあったこと、今後、改善が必要と思われることはどのようなものですか。)
<b>【共有できたことや認識に違いがあったこと】</b> ・年間の事業計画を基に情報を共有しているが、対象については今少し踏み込んだ話し合いが必要。 ・現在の活動団体や施設、地域の企業等の連携をつくることについて課題を共有することができた。
<b>【今後改善が必要と思われること】</b> 区とアワーズの事業で目的等が重複しないように整理する必要がある。対象や内容が重ならないよう調整を行い、幅広い層を対象としながら、それぞれの事業を連動させることでより効果的な取り組みを行う。また新規利用者向けの講座を増やすことが出来れば、アワーズの周知にもつながるのではないかと考える。
<b>事業実施</b> (協働して事業を実施した結果、お互いに共有できたことや認識に違いがあったこと、今後、改善が必要と思われることはどのようなものですか。)
<b>【共有できたことや認識に違いがあったこと】</b> 地域の企業や学生など現在の活動団体構成員とは異なる層に働きかけ、新たな視点から地域活動を考える機会をつくり、交流の場を持つことができた。
<b>【今後改善が必要と思われること】</b> 内容の性格上参加者が固定化されてしまう傾向が見られる講座があった。こうした場合も参加者が新たに次の参加者を呼び込むような仕掛けや工夫が必要。
<b>事業の成果</b> (協働して事業を実施した結果、当初期待された事業効果がどのような成果となりましたか。)
・既存団体や事業の交流、学びあいという目的を掲げた「みんなのひろば」では、「サンタプロジェクト」との相互参加により、通常と異なる年代の交流を図ることができた。 ・「地域デビュー講座」では、多くの参加があったが、事後の活動へつなげることが難しかった。 複数施設の協力で行った事業なので、施設間連携等今後の成果に期待。 ・現役世代や学生を巻き込んで事業を実施した結果、幾つかの事業で開催曜日や時間帯が休日や夕方以降になったにも関わらず、区役所職員が快く対応してくれたことはありがたかった。
<b>自由記入欄</b>
保土ヶ谷区の間接支援組織、施設間連携の核として広報に工夫が必要。アワーズについてまだ知らない区民など、より広い層へ周知していきたい。令和2年度はホームページのリニューアルも予定されており、見直しについて良い機会になる。事業については、それぞれの役割分担を考えつつ引き続き情報共有を図り、地域活動の促進に努めていきたい。